



ひろば



令和3年10月29日 発行

シンボルツリー：ブーゲンビリア

住用に住むわたしたちは奄美豪雨災害を決して忘れてはいけない

校長 久永 浩幸

11年前の10月20日は、奄美豪雨災害が起きた日です。この災害での住用の被害は大変大きく、自宅の浸水等により学校から家に帰れず一夜を過ごした子もいたほどです。中には低学年の子もおり、きっとさびしく悲しい思いをしたことだろうと思います。

【南日本新聞掲載「校歌の風景」】

10月20日付南日本新聞に本校の校歌に関する記事が掲載されました。本校が豪雨災害を経験した学校であるからです。**あえて、この日に記事が掲載された**ことに、豪雨災害を風化させてはいけないという強い思いが感じられます。

～校歌の歌詞～

奄美の自然は、わたしたちに豊かな恵みを与えてくれます。しかし、時にはわたしたちに試練も与えます。何気なく歌っているこの校歌には、**自然への畏敬の念**（尊敬や恐れ）をもち、社会の役に立つ誠実な人に育って欲しいという先人の思いが込められています。（「勤労至誠」二宮尊徳の報徳の教え）

2021年(令和3年)10月20日 水曜日

校歌の風景

住用小学校 (奄美市)

作詞・盛島 秀史
作曲・福島 豊彦

一 黒しおたぎる 奄美島
緑さやけき 住用の
山ふところに そびえたつ
希望のいらか とこしえに
これぞ栄ある わが母校

二 延々ゆうゆう 迫らざる
住用川の 清流に
心をみがき 身をきたえ
行く手明るき 理想郷
求めてむつむ わが母校

三 見よ山河に 新しき
世紀の光 かがよえり
勤労至誠の 旗のもと
若人われら 共に立つ
ああたえなん わが母校

1937(昭和12)年には児童が300人以上いた。67年に住用中との併設解消、西開の分校と役務分た。独立校に。2008年、数校が合併して住用常高小。住用村が奄美市、管別町と併校となった。41年に住用国民学校、48年に住用小に改称。60にして奄美市立校となった。

豪雨で冠水する住用校舎支所
所屬辺り2010年10月
(奄美市提供)

島特有の自然と経験と

〈黒しおたぎる 奄美島〉
は今夏、世界自然遺産に登録された。面積の約8割が山岳地の「緑さやけき 住用」には、アマノクロウサギやルリカサネなど島特有の生物が数多く生息する。住用小では2006年から、絶滅危惧種リュウキュウアユの保護に取り組む、産卵地の整地や生態を学ぶ活動で、本年度の文部科学大臣賞を受けた。

〈山開川の 清流〉と、学
校近くを流れる後勝川の合流点には、マングローブが群生した。子どもたちはカヌーを牽引し、児童19人の小規模校ながら、5年の歴史がある。2006年から、絶滅危惧種リュウキュウアユの保護に取り組む、産卵地の整地や生態を学ぶ活動で、本年度の文部科学大臣賞を受けた。

校歌は、住用村歌の手掛が担った。盛島史さんが「行く手明るき」に「そびえたつ」住

願って作詞。盛島さんの近所に住んでいた元教員の久保忠義さん(86)は、昭和20年代の中ごろには歌われていた。優しくて、詩を作るのが上手な先生だったと懐かしむ。

そんな自然豊かな奄美の姿が変化したのが、2010年の奄美豪雨だった。土砂災害が相次ぎ、道路が寸断(山と願っている。

(永井真士)

【社会科における防災学習】

22日に大島地区の先生方をお招きして、社会科の公開研究会を行いました。その中で、4年生は奄美豪雨災害を教材とした授業を公開しました。授業の様子は奄美新聞でも紹介されましたが、この授業に至るまで、住用支所からの写真提供、当時災害救助にあたられた消防署員の方のインタビュー、当時中学生だった保護者からのメッセージなど、多くの方々から協力を頂きました。わずか10分の間に水が押し寄せ逃げられなくなった話、カヌーで救助された方の話、家具や畳が山積みされた状況など、どれもこれも驚くべき内容でした。しかしながら、この水害により住用の地を去った方も多く、また今後は豪雨災害を経験していない世代が増えていきます。豪雨災害を風化させないためには、記録の保存と学習の充実が必要です。**学校教育は、その大きな役割を担っている**と思っています。

11月4日には名瀬測候所の方に来て頂き、大雨を想定したシミュレーション学習を行う予定にしています。もし皆さんの中で、豪雨災害に関してぜひ伝えたい体験談等がありましたら、小学校まで御連絡ください。

子どもの未来のために 学力を 高める

10/22(金)に本校で大島地区の公開研究会が行われました。各地区から65名の参加があり、多くの方々から、本校の複式学級、少人数学級の学力向上の取組について称賛の声を頂きました。公開研究会に向けては昨年度から研究を進めてきており、校長を中心に全職員で力を合わせて子どもたちの学力高めるために取り組んできました。授業では、大勢の先生方の前で進んで発言する子どもの姿、研究討議ではこれまで勉強してきたことをもとに発表する本校職員の姿が見られました。また、事務や校務員の先生方も、参加された先生方のために環境の整備や心のこもったおもてなしをしました。

学力向上は、子どもの未来のための投資です。子どもが大きくなって、自分進路や生き方を考えるときに必ず役立つものです。今後も、子どもの未来のために研修を深めていきたいと思います。



市教委の協力

学ぶ教師 研究発表と授業後の研究討議 (大島地区から65名参加)





県教委の協力

子どもの未来に向けて・・・ 学力向上






学ぶ子ども 研究授業 (4年, 5・6年)

祝 ★ 住用の子に光を! ★

10/23(土)に世界遺産登録記念式典が行われました。塩田知事、朝山市長など多くの方が出席する中、本校の所崎黎さん(5年)と濱本紫音さん(6年)がリュウキュウアユの保護活動について発表しました。二人とも、奄美市の代表として堂々と保護活動について説明することができました。

この様子は各テレビ局や新聞でも大きく取り上げられ、住用小の子どもたちの活動が県内に広がりました。このように住用小が市の代表として発表できるのも保護者の皆様や地域の方々への支えがあったのと思っています。11/7(日)には産卵地の整地作業もあります。御協力よろしくお願ひします。

世界遺産認定書のレプリカ届く

鹿児島 奄美大島




子どもたちの安全・安心を願って

ドライバーの方に学校前の信号への注意を促すため、警察や県、市に依頼して看板を設置していただきました。



リサイクル活動費の報告

先日、アルミ缶の回収に業者の方が来て下さいました。今回は、148.6kgの回収で**4458円**でした。このお金はPTA活動費として今後使用します。常時、アルミ缶の回収は行っていますので、もし、御家庭にありましたら、ぜひお持ち下さい。

新しい本の購入

1, 2学期に全校児童が出演したあまみFMさんから、4500円分の図書カードを頂きました。図書室の先生からのおすすめの本を4冊購入して、図書室で貸し出しできるようにしています。



<11月の行事予定>

- 1日(月) 県民週間(～7日)
- 5日(金) 給食試食会 授業参観
- 7日(日) アユ産卵地整地作業(7:30)
- 13日(土) 学習発表会(住用中体育館)
- 30日(火) 授業参観 学級PTA
学校保健委員会
家庭教育学級
PTA役員会

<12月の行事予定>

- 1日(水) 人権教室
- 9日(木) 人権花の運動 閉会式
- 24日(金) 終業式 愛のパトロール



